

番号	5 — 7	申請者	看護師 豊田 雛子
<p><b>【審査申請課題】</b></p> <p>重症心身障がい児(者)病棟における経験豊富な看護師の看護実践 ～経験豊富な看護師の語りからの考察～</p>			
<p><b>【審査課題の概要】</b></p> <p>重症児(者)は、意思を自ら訴え、症状を伝えることは難しい。そのため、看護師の観察的確なアセスメントが求められ、さらには患者の意思と合致しているのかを常に問い合わせることが求められる。A病棟の看護師は、カルテや口頭での伝達などで患者の情報を得ている。しかし捉え方は病棟の経験、基礎知識の程度によって異なる。また多くの情報を自分なりに整理し状況に応じた対応・判断が求められている。そこで、本研究は、重症心身障害看護師研修の受講者の看護に着目し、A病棟の経験豊富な看護師がどのような視点で重症児(者)の看護を実践しているのかを明らかにすることで、病棟スタッフが個々に重症児(者)の理解を深め、適切な看護ケアの示唆を得ることが出来ると考えた。</p>			
審査結果	承認 ( 令和5年5月11日 )		